

## 百人一首を覚えよう！ その2 (11~20)

11. わたの原 八十島かけて 漕ぎ出でぬと 人には告げよ 海女の釣舟  
(わたのはら やそしまかけて こぎいでぬと ひとにはつげよ あまのつりぶね)

(参議篁 (さんぎたかむら) (802 ~ 852) 隠岐島へ) 「古今集」

12. 天つ風 雲の通ひ路 吹きとちよ をとめの姿 しばしとどめむ  
(あまつかぜ くものかよひち ふきとちよ をとめのすがた しばしとどめむ)

(僧正遍照 (そうじょうへんじょう) (816 ~ 890) = 垣武天皇の孫) 「古今集」

13. 筑波嶺の 峰より落つる みなのがわ 恋ぞつもりて 淵となりぬる  
(つくばねの みねよりおつる ながわ こひぞつもりて ふちとなりぬる)

(陽成院 (ようぜいいん) (868 ~ 949) 第57代天皇) 「後撰集」

14. 陸奥の しのぶもちずり 誰ゆゑに 乱れそめにし 我ならなくに  
(みちのくの しのぶもちずり たれゆゑに みだれそめにし われならなくに)

(河原左大臣 (かわらのさだいじん) (822 ~ 895) = 源融 (みなもとのとおる))  
「古今集」

15. 君がため 春の野に出でて 若菜つむ 我が衣手に 雪は降りつつ  
(きみがため はるののにいでて わかなつむ わがころもでに ゆきはふりつつ)

(光孝天皇 (こうこうてんのう) (830 ~ 887) 第58代天皇) 「古今集」

16. 立ち別れ いなばの山の 峰に生ふる まつとし聞かば 今帰り来む  
(たちわかれ いなばのやまの みねにおふる まつとしきかば いまかえりこむ)

(中納言行平 (ちゅうなごんゆきひら) (818 ~ 893) 須磨流し) 「古今集」

17. ちはやぶる 神代も聞かず 龍田川 からくれなゐに 水くくるとは  
(ちはやぶる かみよもきかず たつたがは からくれなゐに みずくくるとは)

(在原業平朝臣 (ありわらのなりひらあそん) 平安の美男子、伊勢物語モデル) 「古今集」

18. 住の江の 岸に寄る波 よるさへや 夢の通ひ路 人目よくらむ  
(すみのえの きしによるなみ よるさへや ゆめのかよひち ひとめよくらむ)

(藤原敏行朝臣 (ふじわらのとしゆきあそん) (~ 901) 能書家) 「古今集」

19. 難波潟 短き蘆の ふしの間も 逢はでこのよを 過ぐしてよとや  
(なにはがた みじかきあしの ふしのまも あはでこのよを すぐしてよとや)

(伊勢 (いせ) = 藤原継陰の娘) 「新古今集」

20. わびぬれば 今はた同じ 難波なる みをつくしても 逢はむとぞ思ふ  
(わびぬれば いまはたおなじ なにはなる みをつくしても あはむとぞおもふ)

(元良親王 (もとよししんのう) (890 ~ 943) = 陽成天皇 (No.13) の第一皇子  
= 光源氏のモデル?) 「後撰集」